

## 第4学年国語科学習指導案

日 時 平成21年10月14日(水) 6校時  
児 童 男4名 女6名 計10名  
授業者 武 田 佳 代

- 1、単元名 材料の選び方を考えよう(光村4年下)  
教材名 「アップとルーズで伝える」「四年三組から発信します」

### 2、単元について

#### (1) 児童観

児童はこれまで、3年生教材「ありの行列」「すがたをかえる大豆」で段落という概念を学び、段落ごとの内容をとらえる学び方や、「初め・中・終わり」の基本的な文章構成を学習してきた。また、4年生教材『「かむ」こと力』では、接続語や段落ごとの内容から、段落相互の関係をとらえることを学習してきた。これらの学習を通し、段落の中で中心となる語や文及び接続語などに目を向けて要点をまとめたり、基本的な文章構成をとらえたりすることができるようになってきている。しかしながら、読み取ったことの根拠を明らかにして述べたり、文章全体における段落の役割や相互の関係を的確にとらえたりすることができる児童は少なく、段階を踏まえた指導を必要とする。

昨年度1月に実施した第3学年での国語の学力検査(CRT)の結果では、「読むこと」の正答率が50%(全国63.9%)と全国より低く、特に、段落をまとめる問題が40%(全国50%)、指示語の内容理解をみる問題が10%(全国37%)と落ち込みがみられ、説明的文章を読み取るための基礎・基本が不十分であるという実態が明らかとなった。

#### (2) 教材観

本単元は、撮影の効果と発信者の意図を述べた説明的文章「アップとルーズで伝える」と、その内容を踏まえて、情報の収集から発信までをおこなう「四年三組から発信します」の二つからなっている。

「アップとルーズで伝える」は、わたしたちがよく目にするテレビのスポーツ観戦を取り上げており、実際に確かめることも容易な内容であるため、児童にとっては興味をもって読み進めることのできる教材であると考えられる。文章は、三つの意味段落に(①～③、④～⑥、⑦⑧)に分かれている。一つ目の意味段落は、第1段落と第2段落が対比の関係にあり第3段落がそれをまとめる、二つ目の意味段落も同様の関係にある。さらに三つ目の意味段落は一つ目と二つ目をまとめており、段落相互の関係や役割がとらえやすい構成になっている。また、段落に対応した写真が効果的に用いられ、段落構成、中心文、中心語句をとらえたり、要約をしたりする学習に適しており、説明的文章の読み方を学ぶ教材としてふさわしいものとなっている。

「四年三組から発信します」は、情報の収集から発信までの手順について、相手や目的に合うものを選ぶことに焦点を当てて述べられている。自らが情報の発信者になって、情報の収集や取捨選択を体験することにより、情報の受信・発信にあたっての適切な態度を養うことができる教材である。

#### (3) 指導観

本単元では、段落の中心的な事柄をとらえて要点をまとめ、段落相互の関係をとらえる力や目的に応じて伝える力を身に付けさせたいと考える。そのために、以下の点に留意して指導していく。

「つかむ」段階では、単元のゴールを「広小から発信しよう」の「広小ガイドブック」作りの活動とし、学習者への目的意識をもたせていく。

「ふかめる」段階では、「アップとルーズで伝える」から、情報の選択の仕方や表現方法を読み取らせていく。読みの手順としては、まず、題名に関わる言葉や接続語などに着目させながら、各段落に含まれている中心となる語や文を的確にとらえ段落ごとに要点をまとめていく。写真と文章を対応させながら読むことにより、アップとルーズの特徴がとらえやすくなる。次に筆者の述べている大事なことをとらえていく。その際、筆者が伝えたい「目的に応じた選材の仕方」を確実にとらえさせる。最後に、段落のまとめや段落相互の関係を考えながら文章全体をとらえていく。そのために、文章構成図や見出しを書く活動を位置付けていく。

「ひろげる」段階では、学んだことを生かし確かなものとするために、広瀬小学校の特色を他校の児童に伝えるためのガイドブックを作る活動を行う。「四年三組から発信します」を読んで表現方法を学んだ後、適切な見出しを用いて、「初め・中・終わり」という文章構成や文末表現、段落相互を関係付ける接続語、目的に応じた情報の選択の仕方等を意識させながら、取材や資料等で調べまとめさせていく。

本校が作成した指導内容系統表において、本単元で重点的に指導する項目は、語⑧「接続語の働きを考慮することができる」、要③「段落の要点をまとめることができる」、構③「段落のつながりを考え、意味段落に分けることができる」である。

### 3、単元の指導目標・評価規準

#### (1) 主目標

◎対比・まとめなど段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、相手と目的に応じて選材して分かりやすく伝える。

#### (2) 観点別目標と評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	○伝える目的や相手に応じて、情報の選び方や表現方法が異なっていることに気づき、自分が表現していくときに役立てようとする。	①目的や相手に応じて情報を伝えることに興味をもち、伝えたいことを決め、工夫してわかりやすく伝えようとしている。
読む能力	◎それぞれの段落の役割を考え、写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめることができる。(イ) ○目的に応じいろいろな本や文章を選んで読むことができる。(オ)	①段落相互の関係を理解し、写真と対応させながら、中心となる語や文をとらえて読んでいる。 ②「広小ガイドブック」を作るために必要な本や資料を読み、情報を得ている。
書く能力	◎書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。(ア) ◎取材した事柄を相手に応じて分かりやすく書いて知らせることができる。(イ)(ウ) ○適切な見出しを立てながら書くことができる。(ウ)	①相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり選択したりして書いている。 ②自分の学校について調べたことを、相手に知らせたいことが伝わるように書いている。 ③内容に応じた見出しを用いて書いている。
言語についての知識・理解・技能	◎指示語や接続語が段落のつながりに果たす役割を理解することができる。(イ(ク))	①文章全体の中でのそれぞれの段落の役割を理解し、段落相互や文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使っている。

### 4、単元の指導・評価計画

(17時間)

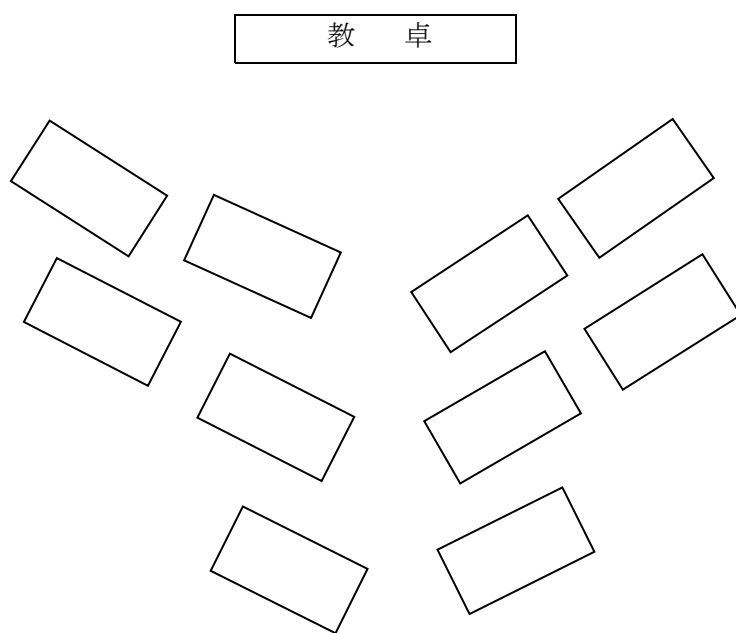
段階	時間	目 標	学 習 活 動 (・主な学習活動 ※指導上の留意点)	評価規準 (評価方法)
つかむ	1	発信することに興味をもち、学習の見通しをもつことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">広小から発信しようの学習計画を立てよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドブックを見て、思ったことを発表する。</li> <li>・単元の終わりに「広小ガイドブック」を作り、他校の児童に見てもらおうことを知る。</li> <li>・ガイドブックに載せてみたいことを発表する。</li> <li>・P27の作例を見る。</li> <li>・単元名を読み、単元の目標と学習計画について話し合う。</li> </ul> ※持ち寄ったガイドブックについて話し合うことで、活動への関心を高めるとともに、単元の見通しをもたせる。	[関①]目的や相手に応じて情報を伝えることに興味をもち、発信することへの意欲を示している。 (観察、発言)
ふかめる	2	「アップとルーズで伝える」を読み、大まかな内容をとらえることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「アップとルーズを伝える」を読み、学習の見通しをもとう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名について話し合う。</li> <li>・「アップとルーズで伝える」の全文を読む。</li> <li>・どんな内容か確認する。</li> <li>・形式段落と写真に番号をつける。</li> <li>・文章全体を初め・中・終わりの三つに分け、読みの見通しをもつ。</li> </ul> ※題名は、要点をまとめたり筆者の考えを読み取ったりしていく手がかりとなるので、意識づけるためにも題名から内容を考える場を大切にする。	[関①]ガイドブック作りに生かすことを意識して教材文を読んでいる。 (発言、ノート)

	3	段落相互のつながりをとらえながら、アップとルーズの意味を読み取りまとめることができる。	<p>「初め」に書かれていることを読み取りまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アップとルーズの言葉の意味を読み取りまとめる。</li> <li>・問いかけの文をとらえ、次の読み取りの課題とする。</li> <li>・写真(1)(2)にキャプションをつける。</li> <li>・第1・2段落と第3段落の関係を考える。</li> </ul> <p>※写真を段落と対応させ、キャプションは、段落の小見出しと同じ役割をすることを理解させる。</p>	[読①] 段落相互のつながりをとらえながら、アップとルーズの意味や問いの文について読み取り、ノートにまとめている。(ノート、発言)
	4	段落相互のつながりをとらえながら、アップとルーズの特徴を読み取りまとめることができる。	<p>「中」に書かれていることを読み取りまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アップとルーズ、それぞれの伝えられることと伝えられないことを読み取りまとめる。</li> <li>・第4・5段落と第6段落の関係を考える。</li> </ul> <p>※接続語「しかし」「でも」に着目し、第4段落と第5段落が対比されていることを図示しながら押さえていく。</p>	[読①] 段落相互のつながりをとらえながら、アップとルーズの特徴を読み取り、ノートにまとめている。(ノート、発言)
	5	段落相互のつながりをとらえながら、アップとルーズの目的に応じての使い方を読み取りまとめることができる。	<p>「終わり」に書かれていることを読み取りまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることを読み取る。</li> <li>・筆者が伝えなかったことを話し合う。</li> </ul> <p>※第7段落が他の事例について述べて一般化していることや第8段落が筆者の伝えたいことが述べられていることから、これらがまとめの段落となることを気づかせていく。</p>	[読①] 段落相互のつながりをとらえながら、アップとルーズの、目的に応じての使い分けについて読み取り、ノートにまとめている。(ノート、発言)
	6	段落の役割や文章全体の構成を理解し、内容をまとめることができる。	<p>文章全体の組み立てをつかみ内容をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落全体がどのようにつながっているか考え、文章構成図にまとめるとともに、意味段落の役割を考える。</li> <li>・文章構成図をもとに教材全体の内容をまとめる。</li> </ul> <p>※教材全体の内容については、型を示し、接続語を用いながら3文でまとめさせる。</p>	[読①] 文章全体における段落の役割や段落相互の関係を理解し、文章構成図にまとめている。また、そこから文章全体の内容をまとめている。(ノート、発言)
ひろげる	7	教材文を読み、ガイドブック作りの見通しをもつことができる。	<p>「広小ガイドブック作り」の計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文「四年三組から発信します」を読んで、具体的な学習の流れを知る。</li> <li>・教科書の作例が何をどのように伝えているのかを読み取る。</li> </ul> <p>※話題の選択、写真の使い方、割り付けの仕方を工夫するとよいことに気づかせていく。</p>	[関①] 目的や相手に応じて情報を伝えることに意欲を示し、ガイドブック作りの具体的な自分の考えをもっている。(発言、観察)
	8		<p>ガイドブックで知らせたいことを決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで集めてきた話題の中から、ガイドブックに載せる話題を決定する。</li> <li>・具体的な内容を決め、調べる方法を確認する。</li> </ul> <p>※選んだ理由を大事にし、伝えたいことを決定させたい。</p>	

9 10 11	相手や目的に応じた取材をすることができる。	<p>知らせたいことについて、材料を集めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの話題に合わせた方法で取材する。</li> <li>・取材メモを書く。</li> <li>・話題に関する写真を撮る。</li> </ul> <p>※多くの材料を集め、よりスムーズな活動となるように、事前準備をしたり個人差に応じた集材の援助をしたりする。</p>	<p>[書①] 相手や目的に応じ、必要な材料を集め、カードに書き出している。</p> <p>(カード、観察)</p>
12	相手や目的に応じた選材ができる。	<p>ガイドブックに使う記事と写真を選ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「選んで伝える」を読み、選材の必要性を確かめる。</li> <li>・集めた材料から、記事に載せる項目を選ぶ。</li> <li>・割り付けをする。</li> <li>・効果的な見出しをつける。</li> </ul> <p>※選材の際は、自分が一番伝えたい観点から選ばせていく。</p>	<p>[書①] 相手や目的に応じ、必要な材料を選択している。</p> <p>(観察、発言、作品)</p>
13 14 15 16	相手や目的に応じた記事の書き方を理解し、調べたことが分かりやすく伝わるように記事を書くことができる。	<p>相手に分かりやすく伝わるように工夫して記事を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記事の書き方について考える。</li> <li>・記事の下書きをする。</li> <li>・下書きを互いに読み合う。</li> <li>・推敲する。</li> <li>・清書をし、仕上げる。</li> </ul> <p>※伝える目的、相手、方法を意識させながら、それに応じた書き方を考え、よりよい記事にするための観点を示していく。</p>	<p>[書②] 自分の学校について調べたことを、相手に知らせたいことが伝わるように書いている。</p> <p>(作品、観察)</p> <p>[語②] 文の組み立てを考え、適切な接続語や文末表現を用い、段落と段落の続き方に注意して文章を書いている。</p> <p>(作品)</p>
17	活動全体を振り返り、相手や目的に応じた情報の選択について自分の考えをもつことができる。	<p>ガイドブック発表会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が作ったページを紹介する。</li> <li>・友達の作品の工夫点について話し合う。</li> <li>・自分のページを振り返り評価する。</li> </ul> <p>※振り返り際には、写真の使い方、見出しの工夫、相手に応じた記事の書き方等の視点を与えて評価させていく。</p> <p>※地域の方々を招き、感想をいただくことで、他校への発信の意欲付けにつなげる。</p>	<p>[関①] 友達の作品のよさに気づいて具体的に述べたり、自分の活動を振り返り、評価カードに書いたりしている。</p> <p>(カード、発言)</p>

(3) 板書計画

6、座席表



(3) 板書計画

